産業組合をどうしてつくる

（四）

杉山英雄

九　定款

株式會社組織の産業組合をつくるには、先づ定款を編成しなければならない（八）に述べたやうに公正證書で設立する場合には、公證人が設立書の次へ定款を轉記し、その後へ組合員全部が、自身又は委任に依つて署名するが、總會の決議に依つて設立する場合は、聖市内で設立するなら二通、地方でつくるなら四通の定款を作成し、各通の最後の餘白に組合員全部が、自身又は委任に依つて署名し、持株數と其合計額面金額とを記入する。其の署名の日附は組合員創立總會日以前のものでなければならない、之に就いて株式會社法第七十四條に

創立總會は株式引受人全部が定款に署名した後においてのみ招集される

と規定してゐる

定款は組合の憲法で、法律で漠然と規定してある事項を具体的に規定したり、法律の規定以上に詳細な規定や、責任や職務を重くしたりする、そして定款に規定のない事項については法規に從ひ、定款の規定は法規と抵觸しないやうに編成しなければならない。それで組合の營業は總て定款に基いて行はなければならないほど重要なものなので、輕々しく變更改正をしないやうに、株式會社法第百三十一條で、

定款の變更改正を議する爲の總會が有効に議決し得る爲には、會社資本金の三分二以上を代表する株主數の出席する事を要する

と定めてゐる。普通諸會社や組合では、その定款改正を總會で有効に議する爲には、總株主の三分の二以上の株主數が出席し總資本の三分の二以上を代表してゐなければならなく、定款の變更は持別に其爲に招集した臨時總會においてのみ議決する事が出來る、と云ふやうに規定してゐる、尙は注意して置くが、創立總會には定款變更を議決する權能はない。又定款の變更改正は創立の時と同樣の手續をして登記をしないと、第三者に對抗出來ない

十　定款記載必要事項

産業組合の定款には必ず次の事項について規定して置かなければならない、もしその規定が無いと無効とされる「産業組合法第十四條」

一、組合の名稱、組織の形式及本部所在地
二、目的
三、組合員々數、その數は七名以下たる事は出來ない
四、組合業務の管理及監督の總員及其方法
五、最少限資本金額及其構成方法並に將來の資金構成形式。組合の出資方法、積立金へ繰入れられる加入金等の規定をする事が出來る
六、加入、脫退又は除名方法及出資額若は持分拂戾條件
七、解散の場合の規定及清算方法
八、積立金構成方法及清算に債務完濟後における使途
九、組合員の權利、總會の招集方法、有効決議所要出席數、投票方法

▲正誤▲　前回六ノ十九行目「出資社々員」とあるは「出資社員」二十一行目「て店名」は「てする店名」三十行目「混同し又は」は「混同しないやうな又は」三十四行目「産國」のは「産品」　二段九行目の「組合の責務」は「債務」の誤に付き訂正

ヘンリ・フォードの思想及び事業論

（二）

竹内餘所次郎

フォードは他人と同じやうに儲けた。しかしその儲けを何に使つたかが問題である。彼は他の資本家のやうに唯自分が儲けて世間並の富豪になるのが目的ではなかつた。彼は其事業が發展すればする程其利得となるべきものを自已に歸せしめないで之に使用される勞働者の所得の增加と製品を買ふ公衆（得意先）の利益とに歸せしめやうと謀つた。こゝが彼の他の資本家と異つた點である

彼は其得る莫大の利益を他の資本家、金持のやうに使はない即ち彼は之を慈善にも使はない自己の贅澤にも使はない、社交もしない、賭博もやらない、他の事業に投資したり、證券化したり、銀行を建てたり、金貸しをしたりもせぬ。唯自己の使ふ勞働者の報酬を增して其生活を改善させる事や、其報酬の多い爲めに生ずる能率の增進や、資本主の搾取の減退の爲めに生ずる餘分裕分を製品價格の低下に宛てゝ社會の需用者に安い物を提供し、隨つて起つてくる社會需用の增加、廣き人類社會の便利の增加に使用した

彼は其事業が大きくなればなる程自然其の使用する勞働者を增すので、其多數の勞働者に他に比して遙かによい報酬を與へんが爲めに其の事業を益々大きくして、世界的に其事業を擴めつゝある。彼の工場は米國に澤山あるばかりでなく、父の鄕國や、愛蘭を始め世界に其分品の工場や、組立工場を設け現に橫濱にも既にあるさうだ。又世界中に支店を作り世界中の人に安い品を直接に供給して居る

故に彼れの世間で云ふ『儲け』なるものは左の如くに分配されて居る。

一、勞働者に高い報酬を與へる爲め
二、製品を安く供給する爲め（値下げ及び割戾により）
三、事業を擴張して益々勞働者を多く使ひ、隨つて製品を莫大に産する爲めに要する資本にせん爲め

之を綜合して繰り返すと、彼の積み立てた資本財産は彼や彼の家族が王侯のやうな生活をせんが爲でもなく、又銀行や其他の（世間並）資本家に提供して搾取を行はせる有力の道具にせんが爲めでもなく、又えらさうな顏をして嘗て掠奪され今されつゝある貧乏人に憐れを垂れる慈善金と云ふものにするのでもなくして、單に世間に一番澤山居る勞働者と公衆とに利益と便利とを與へんが爲めに使はれて居ると云ふ結果になる

此點に於て彼は同じ資本家でも內容實質に於て非常な相違があると云はねばならぬ

以上論じた事の基礎となる事實の概略をこゝに附記する。

一、彼は一八九九年まで電氣會社の技師を勤めてゐた
二、同年デトロイト自動車會社を起し特許權を出資として少數の株を貰ひ技師長となる
三、同社の出資者が唯利益主義なると彼れの理想的自動車製造の考と一致せず三年にして退社する
四、一九〇三年彼の競爭用自動車は全米國の自動車競爭に於て第一等賞を得た
五、優勝後一週間にしてフォード自動車會社を設立した。資本金十万弗、彼は現物出資として全資本の二五、五プロセントを割當てられた。其時の現金出資は二万八千弗。これが二十年後幾億の資産となつた元資である
六、數年後會社が利益を見ると同じく二五、五プロセントの大株主マルコムソンは其持株をフォードに讓つた
七、創立目論見書によると自動車一台の賣價七百五十弗、生産費を合せて五百五十弗、純利一台二百弗、注文殺到、全部現金拂、現金取引はフォード會社の根本的營業方針、終始一貫今日もさうだ。金融に苦心する時は生産方面はおろそかになると云ふ。之がフォード成功の一理由
八、彼は五十一プロセントの資本主となり過半數を制し、理想實現の第一步を得た。それから着々製作上營業上職工待遇上の遠大の理想實現をやつた

（此項未定）

◇◇◇◇◇◇
土地無代貸與
三年契約の下にソロカバナ線サン・ジョオン驛より七キロ、アラクワリグワマの自動車道に沿ひ流水清冽な土地を無代でお貸し致します
御照會は左記の地主へ
Rua Barão de Itapetininga, 55
SÃO PAULO

大豆
多少に拘らず
高價に買ひます
大野鶴龜釀造所
Rua Azevedo Junior, 16
SÃO PAULO

ペードロバーロス小學校新築寄附者芳名並に金額

（サントス市）

金額	姓名
一、日伯國旗	上原直勝殿
一金百釺	海興サントス倉庫 保野殿
一金七拾釺	金山喜三郎殿
一金五拾釺	山里智壽殿
一〃	古謝將義殿
一〃	宮城賀明殿
一〃	上原直義殿
一〃	原田高弌殿
一〃	渡久地正人殿
一〃	神田榮太郎殿
一〃	金城善助殿
一〃	無名氏殿
一〃	Sr. A. O. Pinto Roa.
一金參拾釺	上山義保殿
一〃	日光館殿
一金貳拾釺	阪本清太郎殿
一〃	青木重作殿
一〃	小松英雄殿
一〃	宮平牛助殿
一〃	奧原商店殿
一〃	城間盛幸殿
一〃	與那嶺仁五郎殿
一金拾釺	青木德助殿
一〃	Snr. Martino

（イタリリー驛）

金額	姓名
一金百釺	Snr. José Mortari
一金五拾釺	Snr. Cooperatiba
一金五拾釺	宮城德次郎殿
一〃	伊波興祚殿
一金參拾釺	宮城津波共同店殿
一金貳拾釺	イタリリー支部殿
一金拾釺	久保久治殿
一金〃	小濱松助殿
一金〃	花城清安殿
一金〃	伊豆味太助殿
一金〃	伊波興彥殿
一金〃	國吉新門殿

（ジユキア驛）

金額	姓名
一金五拾釺	ジユキア支部殿
一金貳拾釺	金城愼義殿
一金〃	赤嶺新野榮殿
一金參拾釺	小島徹造殿

（アンナジヤス驛）

金額	姓名
一金拾釺	屋比久孟香殿

（アレキリン驛）

金額	姓名
一金拾釺	新垣正榮殿

（ペードロバーロス會員）

金額	姓名
一金三百十釺	山口榮好殿
仝	仲宗根宗忠殿
仝	平川鴻一殿
仝	原見柴治殿
仝	友寄隆豐殿
一金二百六十釺	內間角太郎殿
仝	眞榮平浪殿
仝	嘉陽宗一殿
一金二百十釺	渡久地麗信殿
一金百六十釺	外間尹一殿
仝	玉城彥吉殿
仝	新里新志殿
仝	眞喜志康信殿
仝	花城清長殿
仝	長濱善成殿
仝	辻野九一殿
仝	仲村蒲戶殿
仝	比嘉保永殿
仝	平良善信殿
仝	喜納源勝殿
一金百四十釺	上江洲智維殿
一金百三十釺	親川善喜殿
仝	城間盛昌殿
一金百二十釺	伊計蒲多殿
仝	目取間浩殿
仝	山田義雄殿
仝	喜友名朝謙殿
仝	屋富祖正喜殿
仝	玉城文三殿
一金百十五釺	島袋德殿
仝	濱端搏殿
仝	城間盛欣殿
一金百十釺	新垣調附殿
仝	與儀三良殿
仝	比嘉次良殿
仝	仲里正榮殿
仝	田中初太郎殿
仝	我謝太郎殿
仝	渡久地麗榮殿
仝	當間嗣久殿
仝	神田蒲殿
仝	幸地新次郎殿
仝	仲渠村加那殿
仝	藤井五三郎殿
仝	田中正彥殿
仝	榎本德次郎殿

（會員の部）

金額	姓名
一金百十釺	榎本菊三郎殿
仝	友寄隆政殿
仝	友寄隆信殿
仝	宮城保守殿
仝	金城義秀殿
仝	湧川龜代殿
仝	仲嶺蒲良殿
仝	宮城利三郎殿
仝	宗根良次殿
仝	宗根良豐殿
仝	宗根良松殿
仝	具志甲善殿
仝	平川搏殿
仝	花城清安殿
一金八十五釺	運天盛助殿
仝	眞喜志康平殿
仝	眞喜志康貴殿
仝	山田義源殿
仝	島袋蒲吉殿
仝	我謝加那殿
仝	渡久地麗甫殿
仝	喜納榮喜殿
仝	長堂忠三殿
仝	上江洲智章殿
仝	島袋武勢殿
仝	濱端繁殿
仝	仲村渠智記殿
仝	喜屋武忠源殿
一金七十二釺五百	仲里新榮殿
一〃	仲宗根宗太郎殿
一金六十釺	比嘉松三殿
一金二十五釺	盛屋武太殿
一〃	盛吉智珍殿
一〃	秋山政信殿
一〃	上江洲考郎殿
一〃	友寄隆佐殿
一金五釺	Snra Maria Perpeta
一金二十釺	Snr. Antonio Santana
一金二十五釺	Snr. Elois Mende Barros
一金五コントス	Snr. Joaquim Mendes 但し敷地四百平方米寄贈

合計　金十五コントス六百六十五ミルレース也

昭和三年四月十三日

ジユキア線ペドロバーロス驛
ペドロバーロス小學校後援會

本社主催第一回在伯邦人

庭球選手權大會

シングルスは竹下君
復試合は縄田、富永君

かねて發表通り本社は邦人渡伯廿週年を記念する爲め先づ第一回在伯邦人庭球選手權大會を去る六、七、八、三日間に渉つて日本倶樂部コートに於て開催した。第一回ではあり特定の競技でありしする爲め出場選士も尠なかつたが、參加者の熱心と後援者の盡力とに依つて多くの收獲を殘して無事に終了した。

第一日（シングルス）

第一ラウンド

三浦本社長の始球を兼ねた第一球より始まり第一ラウンドは番狂はせもなく左の成績で勝つべき人が勝つて行つた

勝　負
高岡氏―三浦本社長　六―一　六―一
東後氏―武石氏　六―二　六―八　六―一
縄田氏―富永氏　六―〇　六―一
竹下氏―大河内氏　六―一　六―一
樋口社員―福田社員　六―〇　四―六　六―二

第二ラウンド（一勝者戰）
蜂谷氏―明穂氏　六―三　六―〇
縄田氏―高岡氏　六―〇　六―一
竹下氏―樋口社員　六―一　六―四
東後氏―遠藤氏　六―〇　六―二

（審判台より）蜂谷氏對明穂氏の試合は可成り接戰を豫想されてゐたが明穂氏のエースをねらう球に失點多く自滅のかたちがありもろく敗れてしまつた（Ｈ）

第二日（土曜午後四時より）

準決勝
縄田氏―蜂谷氏　六―四　六―二

蜂谷氏當り大いに善戰力闘したが惜しくも一セットをも許されなかつた

竹下氏―東後氏　六―〇　六―〇

東後氏始終押され勝ちで遂に一ゲームをも取れず

第三日（日曜）

前夜の雨でコート乾きが上らず午前十時開催、第一コートでシングルス決勝、第二コートにはダブルス第一ラウンドあり

シングルス決勝
竹下氏―縄田氏
六―〇　一―六
六―一　八―六

（審判台より）竹下氏强球を送つて先づセットを取れば縄田氏ネットに出で第二セットを奪還優勝戰にうさはしい接戰を演ず第三セットに入れば竹下氏得意の强球とサーヴィスを以て忽ちセットを得第四セットは縄田氏ネットに出でヴォーレーに得點を續け竹下氏之を拔いて大接戰をつゞけ豫想を許さなかつたが縄田氏遂に勞れ前進をはばまれて惜しく八―六に敗れ、竹下氏優勝日伯盃を得、接戰一時間四十分。縄田氏が最初から竹下氏のバックをついてネットに出る戰法を取つてゐたなら結果は逆にいつたであらうに早く勞れてそれが出來なかつたのは惜しかつた（Ｈ）

ダブルス

第一ラウンド
高岡樋口―岡本安藤　八―六　六―三
蜂谷福田―武石遠藤　三―六　六―一　六―三
縄田富永―竹下明穂　九―七　六―〇

準決勝
縄田富永―高岡樋口　六―三　六―二
蜂谷福田―大河内東後　六―三、九―七

決勝
縄田富永―蜂谷福田　六―一　六―〇

（審判台より）蜂谷福田組は第一ラウンドに餘り勢力をセーブしやうとしすぎて苦戰し第二ラウンドでもそれを繰り返へして苦戰し遂に優勝戰では力盡きて慘敗してしまつた。武石組、大河内組はも少し大事なポイントを注意して試合つてゐたら優勝圏内に入れたかも知れなかつた竹下組は折角第一セットで接戰を演じておき乍ら第二セットに入つて零敗したのはあつけない何かそこに欠けたものがあつたやうに思はれる（Ｈ）

かくて大會は無事に終り一同日本倶樂部に引上げ三浦本社長より單試合優勝者竹下君、復試合優勝者縄田、富永君に日伯盃を、他の勝者に日伯牌、及び副賞を授與し懇親會を催し記念撮影をして散會した

御禮

本社主催第一回在伯邦人庭球選手權大會を催しましたに就いて大方より多大の御聲援を蒙り特に聖市鮫島直哉氏よりはコート修理並びに結構を極めたる審判台二基を御寄附くだされしをはじめ、在聖市諸氏より副賞品を御惠與下さいましたこと紙上を以て厚く御禮申し上げます。

因に鮫島氏より寄贈の審判台はそのまゝ日本倶樂部の備具として全部へ提供した

東京驛頭大騒動

太山郁夫氏歸京に際し

香川縣下に於て三土藏相を向ふに廻はして逐鹿大いに力め不幸落選した勞農黨首領大山郁夫氏は去月一日東京驛に着いたが警視廳では警官三百人を構内に配置し警備に任じた爲め出迎人との間に小競合ひ起き十九名檢束された

特別議會召集

四月廿日より二週間

普選最初の特別議會は四月廿日より二週間と御裁可の上發表されたが特別議會に於ては御大禮費の追加豫算及び其他を議する由で其額五千万圓に上ると

尾崎氏の選擧費

理想選擧に要した

普選最初の總選擧に三重縣第二區より出馬した初期以來の代議士尾崎愕堂氏から選擧費を屆出たが總額三千三百五十圓六十錢で尾崎氏は一文も選擧費を出さず全くの理想選擧であつた

片山伸氏逝く

露西亞文學の泰斗

露西亞文學の泰斗早稻田大學教授天弦片山伸氏は三月五日腦溢血にて逝去した享年四十五才、辭世の歌に曰く

こゝろざしよしやこの世にとめずとも子やうけつぎてやがてなしなん

こうふ屋
コンデ　四九
たなか
湯どうふ召しませ

時計修繕
安くて正確に時計の修繕を致します内外各種の時計お好み次第
目覺時計は十七釺より
寶石及貴金屬買ひます

DISESSA
Praça da Sé, No. 94-C

法律事務飜譯其他
辯護士　カルロス・モラエス　アンデラーデ
ルアザレイタ七番三階三一號室
公認飜譯人　杉山英雄
時間　午後二時乃至五時
總領事館内教育會事務所
法律事務一般、諸契約交渉並立會　飜譯通辯　歸化申請　國内經濟事情調査其他の御相談に應じます

雜貨販賣
運送業
農產物仲買
ゑびす商店
峰松春二
北西線リンス驛
郵函一九二

Pharmacia Japoneza
de Olavo & Queiroz
ALVARES　MACHADO
調劑正確　廉價
晝夜何時でも御用命に應じます
プレジョン　植民地
日本藥局
種痘無料　毎日
オフイシアール　デ　ファルマシア
肥田善衞
日伯新聞取次

矢部ザカレ共同
洋服店
米國嶄新型、迅速叮寧、安價
お急ぎの場合は十二時間で仕立ます
期日迄に出來上らねば代金は申受けません
月賦の便宜あり
Praça da Sé, 9 ▲ 2 and. Sala--6
Tel.　2 --- 4364

食料品及雜貨販賣
歸國者御用達
上原商店
サントス港　ラルゴデセッテセテンブロ　十六
電話　一八〇四

Officina
Mechanica de Armas
營業課目
各種銃器修繕鍍金
其他蓄音機
ミシン　タイプライター修繕
渡邊銃器修繕所
聖市　ルア・ド・テアトロ　一八
電話　二―二六二四

貸自動車は同胞運轉手の居る
ガラージ　コングレッソ
御呼出しは
話　話　二一―〇〇八一
プラッサ・ジオンメンデス

測量、製圖、建築、電氣及諸機械据付見積計畫、土地調査、道路工事請負並設計其他土木に關する一切のお求めに應じます
土木技師　野村秀吉
北西線　プロミッソン　郵函　八

M. Harada
Engenheiro
建築・設計・製圖・土地測量・道路設計等の請負監督の御用命に應じます
公認技師　原田政平
R. Sta. Thereza, No. 2 - sob. sala, 110-111
Tel. 2 -- 3364　São Paulo

大阪商船會社仲次
成功館
伯國產鰹節製造元
古謝將義
電話二〇〇八
サントス市　ラルゴデセッテセッテンブロ　一五

Missão Japoneza do Brasil
聖州義塾
寄宿舍、夜學校　葡語通信授教
主任　小林美登利
サンパウロ市　ガルボブエノ　八十五
サンパロウ教會
日曜學校（午後四時）
大人集會（午後八時）
Caixa, 2-Z São Paulo

SÃO PAULO HOLINES CHURCH
サンパウロ
ホーリネス教會
ボニタ街　十三
福音使　物部赳夫
Caixa. 3919

シンガーミシン
シンガーミシン會社と取次販賣の契約を致しました何卒御用命下さい、尙市内御在住の方には月賦拂の便宜を御計ひします
歐米最新型洋服仕立は叮嚀に迅速に期日は確實に
コンデ街　四三　常盤旅館隣
電話　二一六一七三
石井洋服店

Hotel S. Paulo
Rua
General Osorio, 24
Tel. 390
Ribeirão Preto
御旅館　サンパウロ
お泊りの節は休み心地のよい、そしてコミーダのおいしいので評判の……當館へ
館主　島崎岩吉
[illegible]停車場二十四番
電話　三九〇

各船舶に食糧賣込業
大阪商船會社
日本郵船會社
國際汽船會社
御用達
ヤマカ合資商會
前田　小淵　合同經營
サントス市　マルチンアホンソ四一　電話　一九七三